

『おんせんつくろう』 4歳児 12月 ひまわり組



エピソード

・12月に入り、少しずつ寒くなってきました。砂場でも水を使った遊びからあったかくなるような遊びに変化し、砂場に穴を掘り始め「温泉つくろう」と友達と一緒に穴を広げて遊んでいました。最初は一人入れる大きさだったところから「みんな入れる大きさにしようか」「そうしよう」「葉っぱをいれて、葉っぱの温泉にしよう」と友達と相談していました。葉っぱを拾ってきた友達は「葉っぱが全然なかった」と戻ってきました。「温泉の代わりになるものないかな」と少し不安げだったので、保育者も一緒に考えてみました。近くにブルーシートがあったので、「これはどう？使えそう？」と子ども達に提案してみました。「それがいい」「使えそう」とさっそくブルーシートを広げると「靴は脱いで入るんやで」「温泉でケーキ食べよう。ケーキつくってくる」とさらにアイデアが浮かび、友達と一緒に遊ぶ姿がありました。

子どもの育ちや学び

・友達と一緒に過ごしたり、遊んだりすることで、お互いの思っていることを知ったり、認めたりしながら遊ぶ楽しさを感じている。友達のアイデアや先生にも聞いたりして色々な意見があることも知り、自分の力にしている。
・自分の思いや考えを言葉で伝えている。

保育者の思い

- ・お互いのイメージを言葉で伝えていくことで、友達の思いを受け入れながら遊んでほしい。
- ・共通の目的に向かって必要なことを考えたり、しようとしていたりして遊んでほしい。
- ・楽しいことをもっと楽しいと感じ、どんどん遊びを進めていけるようになってほしい。

家庭だったら・・・

- ・たのしかったことやうれしかったことについて話し合ったり、じっくりと耳を傾けて聞いたりして、お子さんへ気持ちを言葉にする機会を増やしてみるのもいいかもしれませんね。
- ・お家の方もお子さんと同じ目線で一緒に遊びを楽しんでみてはどうでしょう。子どもの面白い発見やアイデアを話し合ってみるのもいいかもしれませんね。